

24V ポータブルコンプレッサー

取扱説明書

この度は「24V ポータブルコンプレッサー」をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、本機の性能を十分にご理解の上、安全に正しくお使いくださるようお願い致します。

お読み終わった後もこの取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

なお、不適切な使用により事故が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「使用者が死亡事故または重傷を負う可能性が極めて高いと想定される」内容
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「使用者が死亡事故または重傷を負う可能性が想定される」内容
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負うまたは物的損害が発生する可能性が想定される」内容

電動工具共通の安全上のご注意

- 「電動工具」とは電源式（コード式）電動工具、または電池式（コードレス）電動工具を指します。
- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、ご使用前に必ず取扱説明書に目を通し、下記の「安全上のご注意」をすべてよくお読みの上、指示に従って正しくご使用ください。
- お読みになった取扱説明書はいつでも見られるように必ず保管しておいてください。

警 告

1. 作業場は明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や狭い作業台は、事故の原因となります。
 - ・ 強風の時や夜間や薄暗い場所での使用は危険です。昼間の明るい時間帯で作業してください。
2. ガソリン・シンナー・可燃性のガス・粉塵などの引火性の高いものの近くでは使用しないでください。
 - ・ 火花が引火して火災の原因となります。
3. 使用中は子どもや第三者を近づけないでください。
 - ・ 事故の原因となります。
4. 電源プラグは適正な電流・電圧のコンセント、発電機でご使用ください。
 - ・ 一般家庭用電源（AC100V）対応機です。出力を確認のうえ適正な電源・延長コードをご使用ください。
5. 本体・スイッチ・プラグ・バッテリーの修理や改造をしないでください。
 - ・ 本製品は該当する安全規格に適合しています。改造されると火災や感電の恐れがあります。
6. 感電に注意してください。
 - ・ 使用中に、身体をアース（接地）されているものに接触させないようにしてください。（例えば、金属製のパイプ、エアコンの室外機、電子レンジ、冷蔵庫の外枠など）
7. ペースメーカーなどをご使用の方は、稼働中の本品に近づけないでください。
 - ・ 電磁波の影響により誤作動を起こす可能性があります。
8. 雨天時の取扱に注意してください。
 - ・ 雨ざらしにしたり、極端に湿気の多い所や高温な場所で保管をしないでください。
 - ・ 濡れた手でコンセントプラグやバッテリーに触らないでください。
 - ・ 小雨、濃霧、雨天時の使用はおやめください。感電の危険があります。

9. 電源コードの扱いに注意してください。

・電源プラグやコードは使用前に損傷や破損がないかよく点検をしてください。使用時は無理に引っ張ったり挟み込んだりしないでください。

・電源コードは熱・油・角のあるところで使用しないでください。電源プラグやコードが損傷したり、傷んだりすると、感電、火災の恐れがあります。

10. 使用環境に見合った延長コードを使用してください。

・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードの延長コードを使用してください。

11. 使用しない電動工具の保管は子どもの手の届かない、乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。

・バッテリーは本体から抜き、充電器はプラグからコードを抜いて保管してください。

12. USB 端子付きのバッテリーは端子間に金属が触れないようにしてください。

・針や針金などが USB 端子内に入るとショートする恐れがあります。

13. 無理な使用を避けてください。

・取扱説明書にある機能を超えた作業はしないでください。能力に見合う速さで効率的に作業をしてください。

・小型仕様の電動工具やアタッチメントを大型の電動工具で行なうような負荷のかかる作業に使用しないでください。

・著しく疲れている時やアルコール、医薬品等の摂取により正常な判断ができない体調の場合は使用しないでください。

14. 作業に適した服装で行ってください。

・だぶついた衣服やネクタイ・ネックレス等の回転部に巻き込まれる恐れがあるものは着用しないでください。

・屋外での作業の場合には手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。

・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

15. 安全保護具を使用してください。

・作業時は、保護めがねを使用してください。必要に応じて、ヘルメット、防じんマスク、防音保護具を併用してください。

16. 無理な体勢で作業しないでください。

・斜面など足場の不安定な場所、無理な姿勢での作業は思わぬ事故になる恐れがあります。

17. 不意な始動を避けてください。

・本体を移動する際はスイッチに手がかからないよう注意してください。

・移動、手渡し、メンテナンスの際は本体からバッテリーを抜いてください。

・稼働させたまま放置しないでください。

18. 破損・故障・異常がないか確認のうえ、電源を入れてください。

・使用前に本体の破損・部品の破損・締め付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか十分に確認してから使用してください。また、本体を誤って転倒、ぶつけた際も同様に確認してからご使用ください。

・故障・異常が発覚した際は、大変危険なためただちに使用をやめ、販売元または弊社まで修理依頼をお申し付けください。

・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

19. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

・点検・調整・清掃する場合は電源を切り、バッテリーを本体から抜いて作業を行ってください。

・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従って確実に取り行ってください。

・使用前に、調節に用いたレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。振動によって飛散し、怪我をする恐れがあります。

・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

20. 切断工具は、鋭利できれいな状態でご使用ください。

・適切にお手入れされることで、より安全性の高い作業をおこなうことができます。

・使用後はお手入れをし、状態によっては付属品の交換をしてください。

「バッテリー工具」 安全上のご注意

- ここまでは電動工具共通の注意事項を記載しましたが、さらに「バッテリー工具」として以下の安全上のご注意を守ってご使用ください。（「バッテリー工具」とは、外付けのバッテリーを充電・装着して使用する電動工具のことです。）

警 告

1. 専用のバッテリー以外は使用しないでください。
2. バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。
3. バッテリーに釘をさしたり、衝撃を与えたりしないでください。
4. バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。
5. バッテリーの端子に金属などを接触させないでください。（特に金属と一緒に保管しないでください）ショートする恐れがあります。
6. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温になる恐れのある場所で充電・使用・保管しないでください。
7. 極端に高温・低温・高湿度の場所で保管するとバッテリーが液漏れする恐れがあります。漏れた液はやけどや炎症の原因となりますので絶対に触らないでください。万が一目に入ったら、すみやかに水で洗い流し、眼科医に受診してください。
8. 正しく充電してください。
 - ・この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
 - ・温度が0℃未満、または温度が40℃以上の所では、バッテリーを充電しないでください。
 - ・充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
 - ・充電器を使用しない時、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
9. 専用の充電器以外では、充電しないでください。
 - ・充電以外の目的で充電器を使用しないでください。
10. バッテリーを充電したまま長期間放置・保管しないでください。
11. 次の場合は工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。
 - ・保管、または修理する場合。
 - ・付属品を交換する場合。
 - ・本体の整備や掃除をする場合。
12. 不意な始動を避けてください。
 - ・バッテリーを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。
13. 充電中、極端に発熱したり、膨張、発煙などの異常に気づいた場合は直ちに使用を中止してください。
14. 火災発生の恐れがある場所では充電しないでください。
 - ・ホコリのある所、燃えやすい布製品の上、ビニールなどは発火の原因となります。
15. バッテリーを水などの液体にひたさないでください。ショートの原因となります。
16. 稼働可能時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
17. 使用済みのバッテリーは一般ゴミとして捨てないでください。
18. 落としたり、強い衝撃を与えられたバッテリーは使用しないでください。

「24V ポータブルコンプレッサー」 安全上のご注意

●ここまでは電動工具共通の注意事項を記載しましたが、さらに「24V ポータブルコンプレッサー」として以下の安全上のご注意を守ってご使用ください。

危 険

1. 本機を雨に濡らしたり、水に浸したり、湿気の多い場所で使用・保管しないでください。また、濡れた手で本機や充電器に触れないでください。感電、ショート、火災、故障の原因となります。
2. 本機は子供や身体的、感覚的、精神的に能力の劣る方（安全責任者の監督下にある場合を除く）が使用することを意図していません。子供の手の届く場所に保管したり、使用させたり絶対にしないでください。予期せぬ事故や怪我の原因となります。
3. 本機を分解、改造したり、指定以外の部品を取り付けたりしないでください。火災、感電、故障、傷害の原因となります。修理は必ず専門のサービス担当者にご依頼ください。
4. 本製品は防爆構造になっておりません。ガソリン・シンナー・可燃性のガス・粉塵などの引火性の高いものの近くでは使用しないでください。
5. エアツールの吐出部を覗き込まないでください。不意な事故により目の損傷など重大な怪我の原因となり大変危険です。
6. エアホースやアタッチメントを顔や身体、動物、他人に向け吐出ししないでください。事故や怪我の原因となり大変危険です。
7. 対象物の最大空気圧を超えて空気を入れないでください。破裂し、重大な怪我や物的損害の原因となります。必ず対象物の指定空気圧を確認し、必要に応じて市販の空気圧ゲージで確認してください。
8. アタッチメントは確実に取り付けてください。外れて飛散し、怪我の原因となることがあります。
9. ホースに亀裂や破損がないかよく確認し、ある場合には使用しないようにしてください。使用中に破損した場合はすぐに停止し、ホースを外してください。

警 告

1. 本機は一般エアツールへのエア供給、タイヤ、ボール、レジャー用品等の空気入れ以外の目的で使用しないでください。誤った使用は事故や故障の原因となります。
2. 使用中は子供やペットを近づけないでください。
3. 本機を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。内部部品の損傷、バッテリーの故障、液漏れ、発熱、破裂、火災の原因となります。

4. 誤って落したり、ぶつけたりした時は、必ずよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、感電や誤作動の原因になります。
 - ・落とすなどして強打したエアタンクは危険なので使用しないでください。
5. 吸排口をにものを置いたり、カバーなどで塞がないでください。
6. 作業中は本機を電源が ON のまま放置したり、使用中に製品から離れたりしないでください。予期せぬ作動により、事故や怪我の原因となります。
7. 使用中、エアホースの金属部やアタッチメントは高温になることがあります。直接触れないでください。やけどの危険があります。
8. エアホースを無理に引っ張ったり、ねじったりしないでください。破損の原因となります。
9. 使用中に異常な音、異臭、発煙、異常な振動などの異常が確認された場合は、直ちに電源を切り、バッテリーを取り外し、使用を中止してください。販売店または弊社に点検・修理を依頼してください。
10. 本機の連続使用時間を守ってください。定格時（30 分）以上連続稼働しないでください。バッテリーを複数個交換しながら長時間使用する場合は、バッテリーランプが一つになった時点で交換し、再稼働前に本体を 30 分以上休ませてください。
11. 移動時、作業終了時は必ずスイッチをオフにし、ドレンバルブを徐々に開き、エアタンク内の空気と水を排出してください。

注 意

1. 高温、多湿、ホコリの多い場所、直射日光の当たる場所での使用は避けてください。故障の原因となります。
2. 使用時はだぶだぶの衣服や装身具（ネックレス、ブレスレットなど）など、モーター部に巻き込まれる恐れのあるものは着用しないでください。
3. インバーターを内蔵しないエンジン発電機での充電はしないでください。事故や故障の原因となります。
4. 使用中は稼働により発生する音、振動、飛散に注意してください。長時間使用する場合は、耳栓、ゴーグルなどの保護具や耐振動手袋の着用をおすすめします。

【法令を遵守してご使用ください】

●騒音規制について…騒音・振動規制法については、各自治体ごとに政令で定められた内容が異なります。お住まい管轄の法令をご確認のうえ、近隣の方へのご迷惑とならないよう十分に配慮してご使用ください。

●リチウムイオンバッテリーを処分する際はお住まいの自治体の廃棄規程に従い、正しく処分してください。廃棄方法を誤ると発火や発熱の恐れがあり大変危険です。

●本体のご使用に際し、本製品に不備がない事由により使用者が第三者に損害を与えた場合は、その責任を負う義務があります。

基本仕様

24V ポータブルコンプレッサー		型番 LX CAP08-JP
電圧（バッテリー）	24V（リチウムイオンバッテリー）	
モーター回転数	4500RPM	
最高吐出圧力	8BAR	
最大吐出量	45L/min（0BAR 時）	
タンク容量	6L	
再始動設定圧力	6BAR	
安全バルブ設定圧力	8BAR	
サイズ（約）	本体：幅36×高さ30×奥行32cm	
騒音レベル（約）	92dB	
重さ（約）	本体：7.0kg バッテリー：440g	
材質	樹脂、他	

※商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのであらかじめご了承ください。

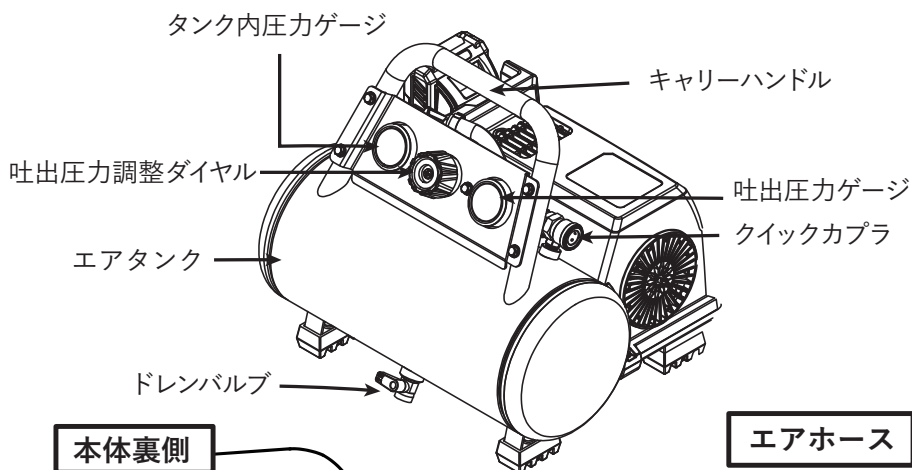
充電アダプター	
電圧	100V
周波数	50-60Hz
充電時間目安	約 80 分

※充電時間はバッテリー残量、気温、バッテリーの経年劣化により異なります。

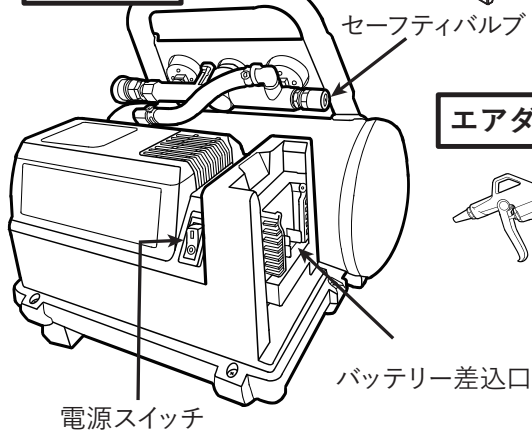
標準セット内容：
本体、エアホース、エアダスター、充電アダプター

各部名称

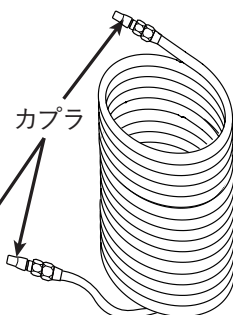
本体



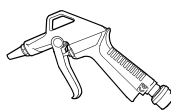
本体裏側



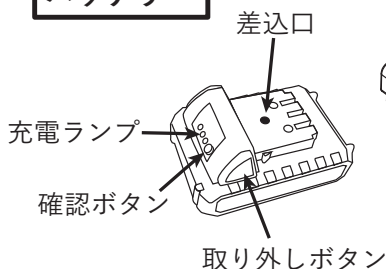
エアホース



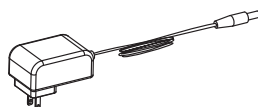
エアダスター



バッテリー



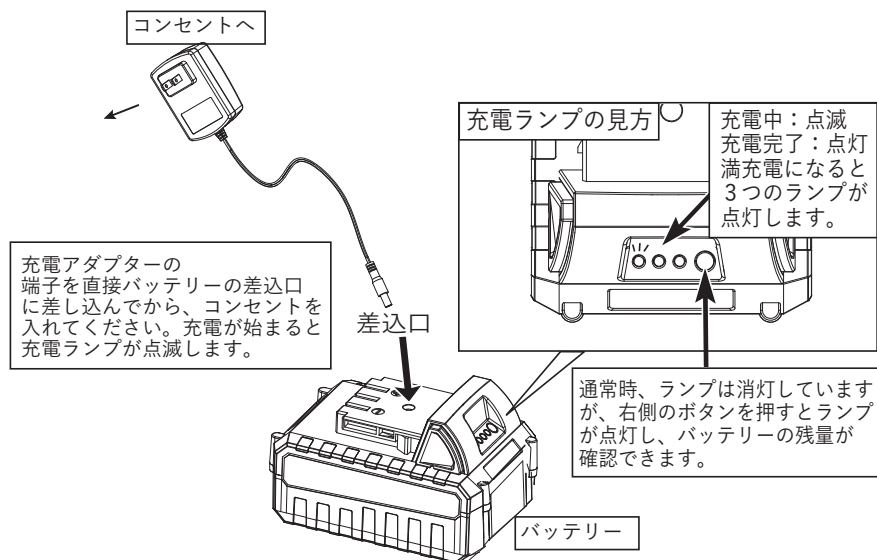
充電アダプター



作業の前に

バッテリーは工場出荷後、放電により十分に充電されていない場合があります。使用前にバッテリーに関する全ての注意事項を確認し、バッテリーを充電してください。充電アダプターの端子をバッテリーの充電端子差込口に直接差し込んで充電します。※このバッテリーは追加充電可能です。※充電しながら製品を使用することはできません。

充電方法：



警告

- 1, バッテリー自体の劣化や本体モーターのオーバーヒートを防ぐことを目的に、このバッテリーには安全装置が内蔵されています。
 - ・使用中、長時間の使用や過重作業など負荷がかかりすぎた場合にはバッテリーが自動停止することがあります。この場合、スイッチを入れても本機は稼働しなくなります。
 - ・バッテリーが自動停止した場合は作業を停止し、本体スイッチを切り、バッテリーを取り外して、30分以上本体とバッテリーを休ませてください。
- 2, バッテリーの容量が少なくなると自動停止します。
 - ・残量不足によって自動停止したバッテリーは、その後すぐスイッチを入れ直すと再び稼働することがあります。この場合でも使用を中止しバッテリーを充電してください。
 - ・別のバッテリーに替える場合は、本体を30分以上休ませるようにしてください。
- 3, バッテリーを完全に放電させると、バッテリーが損傷する恐れがあります。
 - ・電池残量不足で停止ようになった状態で製品を使用、保管しないでください。
 - ・損傷のあるバッテリーを長期間保管後に使用すると、破裂の恐れがあり大変危険です。

バッテリー寿命を保つために

注 意

- ・残量が少なくなってきたバッテリーは出来るだけ早めに充電してください。
- ・完全に放電すると蓄電機能が劣化し、再充電が出来なくなる恐れがあります。
- ・残量が少ない状態で長期間（3 か月以上）保管すると、使用時間が極端に短くなるか、再充電出来なくなる場合があります。
- ・バッテリー寿命をより保つためには、定期的に電力を消費し、容量を消耗するたびにバッテリーを充電するのが理想的です。
- ・連続使用後の製品はバッテリーが高温になっています。充電する前に少し時間をおき、十分冷ましてから充電をし始めることによりバッテリーにかかる負荷が減ります。
- ・バッテリーは 0℃～40℃の間で給電できるように設計されています。冷たすぎたり熱すぎたりすると、うまくバッテリー充電ができません。本体が冷えすぎてなかなか充電できない場合は、温かい室温の場所にしばらくおいてください。
- ・充電中にバッテリーやケーブルが熱くなる場合がありますが、これは正常であり、障害を示すものではありません。
- ・ただし、異常に熱くなった場合には電力供給を一旦停止し、冷却時間を設けるようにしてください。また充電が終了し満充電の状態でも長時間充電したままにしないようにしてください。
- ・機器の動作時間が大幅に短縮され、バッテリーの充電時間が短縮された場合は、バッテリーの容量が減少しているため、交換する必要があることを示しています。

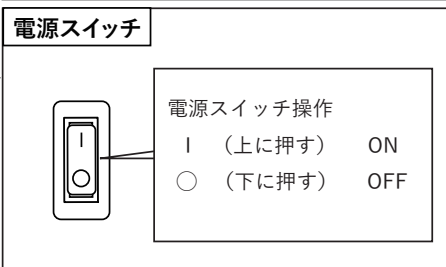
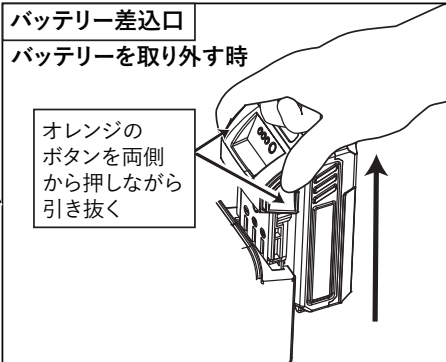
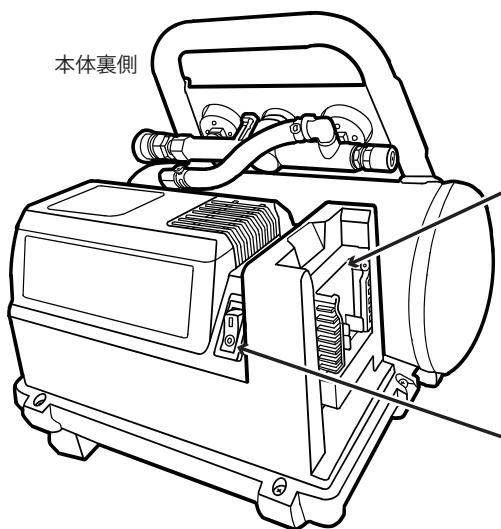
操作方法

バッテリーの取り付け・取り外し方：

バッテリーの取り付けは必ず電源スイッチがオフになっていることを確認してからおこなってください。

バッテリー差込口に、まっすぐ、奥までしっかり押し込んでください。「カチッ」とつめのはまった音がなります。

取り外す時は、取り外しボタンを両側からしっかり押し込みながら、引き抜いてください。



スイッチの操作方法：

【スイッチオン】電源スイッチをオンに入れるとコンプレッサーが動き出します。エアタンクに空気が溜まっていき、タンク内圧力が約 8BAR になると自動で止まります。

※使用するエアツールはスイッチをオフにして取り付けてください。

※スイッチを入れる前にドレンバルブがしまっているか、確認してください。

【稼働中】吐出圧力調整ダイヤルで必要な空気圧に設定し、エアツールを操作します。電源がオンに入っている時はタンク内圧力が約 6BAR 以下になった時、自動でコンプレッサーが始動します。

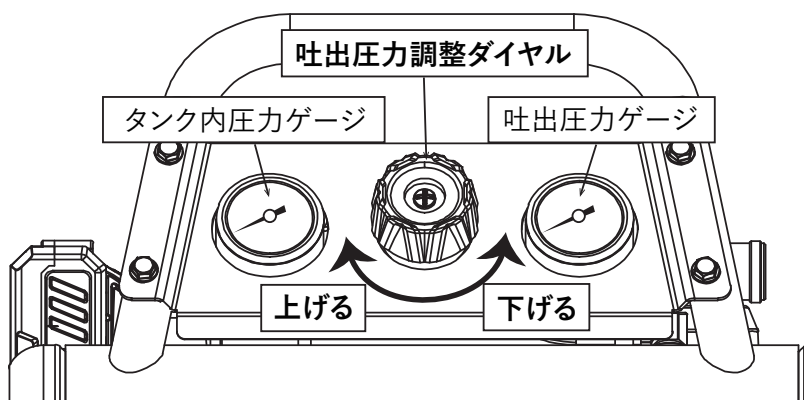
【スイッチオフ】スイッチをオフに入れると、稼働が止まります。

※エアツールを交換する時はコンプレッサーが自動稼働しないように、スイッチをオフにしてから取り付けるようにしてください。

テスト運転：

初めて使用する前に、コンプレッサーの性能を高めるために、エアタンクに圧力をかけずにテスト運転をしてください。ドレンバルブのノブ（P15 参照）を反時計回りに回し全開にした状態で、電源スイッチを入れます。そのまま 5 ～ 10 分間、コンプレッサーを稼働させます。

十分稼働させたのち、ドレンバルブのノブを時計回りにまわして閉じ、タンク内圧力が上昇するのを圧力ゲージで確認します。タンク内圧力が約 8BAR になると自動停止します。自動停止の動作が確認できたらテスト運転は完了です。電源スイッチをオフにしてからエアホースを取り付けてください。



圧力の調整方法：

空気を入れる製品や使用するエアツールに合わせて、吐出圧力調整ダイヤルをまわして圧力を調整します。圧力を上げるには時計回りにまわします。圧力を下げるには反時計回りにまわします。

※付属のエアダスターツールは約 4BAR が設定目安値です。

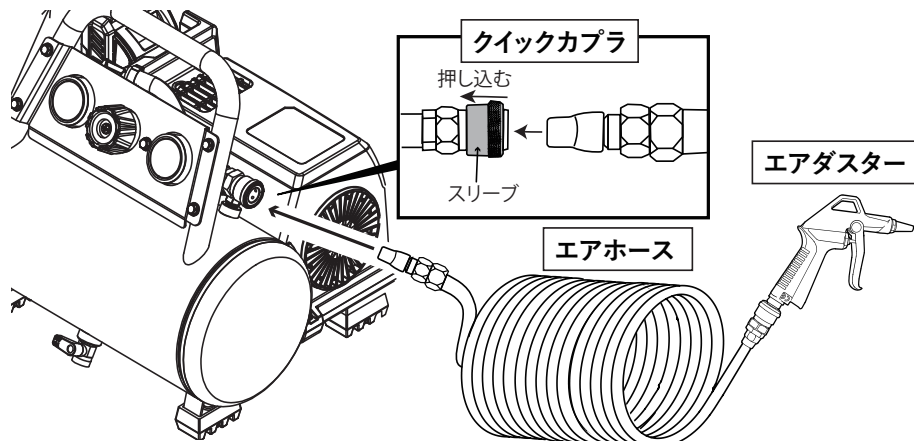
※特定の用途の時は、可能な限り用途にあった適正值で低い圧力を使用してください。高い圧力を使用するとエアタンクが早く空になり、コンプレッサーの始動と停止が頻繁に行われるためバッテリーの消耗が激しくなります。

警告

吐出圧力の設定を、エアツールまたは空気を入れる製品の指定する最大圧力値よりも高い圧力に調整しないでください。爆発の恐れがあり大変危険です。また、決して 8BAR より高い吐出圧力に設定しないでください。絶対に本体スイッチをオンにしたまま放置しないでください。

エアホースの取り付け方法：

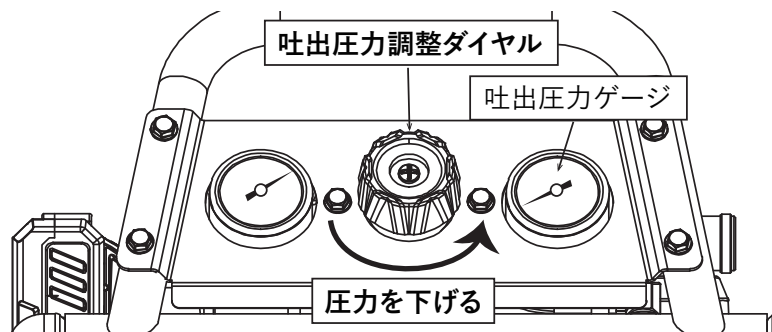
1. 本体の電源がオフになっていること、及びバッテリーが外されていることを確認します。
2. 吐出圧力調整ダイヤルを反時計まわりにまわし、吐出力圧が 0BAR になるように調節します。
3. 本体のクイックカプラのスリーブを押し込んでから、エアホースのカプラをしっかり差し込んで接続します。最後にエアホースのカプラが完全に押し込まれ、本体側のスリーブが確実にロックされていることを確認してください。



エアホースの外し方：

使用後は以下の手順に従ってエアホースを外します。

1. 吐出圧力が 0BAR であることを確認します。そうでない場合は圧力調整ダイヤルを反時計回りにまわして 0BAR になるように調節します。
2. 調整しても 0BAR にならない場合は、タンク内圧が無圧になるまでセーフティバルブ (P14 参照) 開いて空気を抜きます。
3. クイックカプラのスリーブを外し、エアホースのカプラをしっかりと握って本体のクイックカプラから引き抜きます。



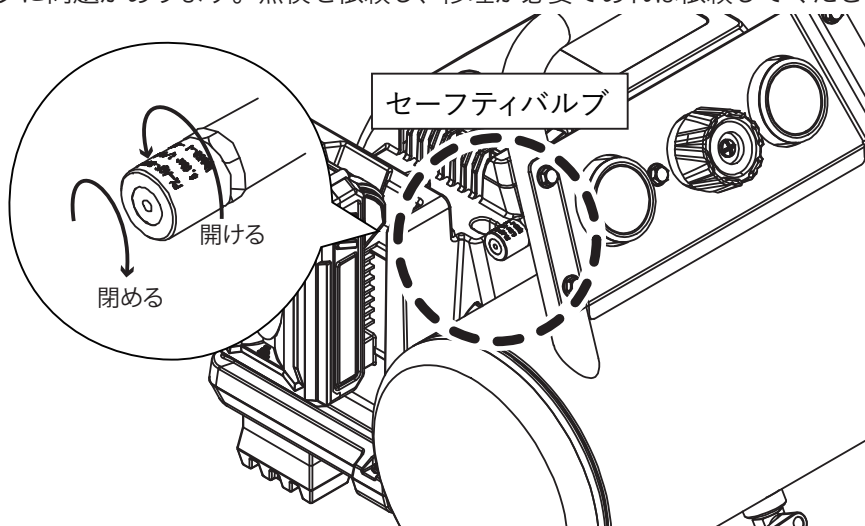
セーフティバルブの操作方法：

反時計回りにまわして圧力を逃します。

また、セーフティバルブはタンク内の圧力が8BARを超えると、自動的に空気を放出して圧力を下げる役割をします。使用前に必ず下記の通りバルブを回して点検してください。

セーフティバルブの点検方法

1. バッテリーを装着し、電源スイッチをオンにします。
2. タンクが満タンになり、コンプレッサーが自動停止するのを待ちます。
3. 自動停止したら、電源スイッチをオフに入れてください。
4. セーフティバルブを反時計回りにまわして空気を抜きます。タンク内圧力ゲージの針が下がってくるのを確認します。
5. セーフティバルブを時計回りにまわして閉めます。ゲージの針が止まり、エアが抜けていないことを確認します。
6. これらの手順を何度か繰り返してもまだエアが抜ける場合は、セーフティバルブに問題があります。点検を依頼し、修理が必要であれば依頼してください。



⚠ 危険

1. セーフティバルブを閉じてでも空気が漏れる場合は、製品を使用しないでください。セーフティバルブが正常に動作しないまま使用すると、重症を負う事故や致命的な怪我を負う危険性があります。
2. セーフティバルブを絶対に改造、修理しないでください。本体から外れた部品が飛散し、重大な人身事故や致命的な怪我を引き起こす恐れがあります。

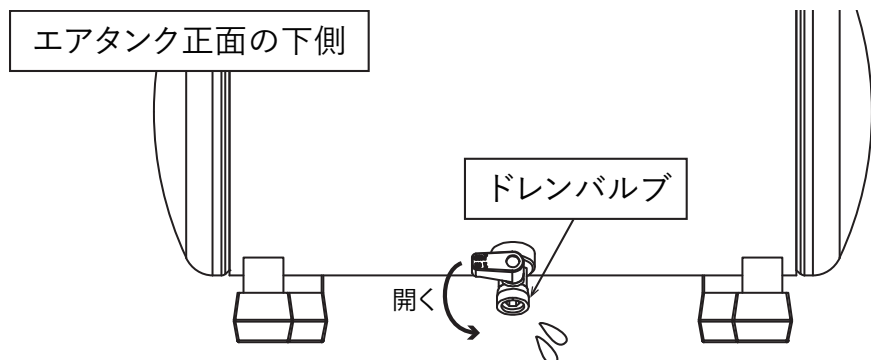
お手入れと保管

ドレンの排出方法：

使用後はタンク内の腐食を防ぐために必ず毎回ドレンを抜いてください。

ドレン抜きのやり方

1. 電源をオフにし、バッテリーを外します。
 2. セーフティバルブを反時計回りにまわしてタンク内圧力ゲージが 1.4BAR 未満になるまで空気を抜きます。
 3. セーフティバルブを時計回りにまわして閉めます。
 4. ドレンバルブのノブを反時計回りに 90° まわし、ON（開）の位置にします。
 5. エアタンクを傾け、水が外に流れ出るように促します。ドレンバルブの下に適切な容器を設置し流し出してください。
 6. ドレンバルブが詰まっている場合は、タンク内の圧力を解放してから、バルブを取り外して清掃し、必要に応じてバルブを交換してください。
- ※ドレンは圧縮された空気内のゴミやグリスを含む汚染された凝縮水です。自治体の指定により適切な方法で廃棄してください。
7. ドレンの排出後は必ずドレンバルブのノブを元に戻し、バルブを閉じてください。



⚠ 危険

1. バルブのメンテナンスの前に必ずスイッチを切り、タンク内の圧力を解放し無圧状態にしてください。重症を負う事故や致命的な怪我を負う危険性があります。
2. エアタンクには寿命があります。寿命は製品の使用頻度、タンクのメンテナンス状態など様々な要因によって異なりますが使用しなくても経年劣化の恐れがあります。外観ではわからなくても内部で損傷したり劣化している可能性があります。製造より 10 年を経過したエアタンクは使用しないでください。それ以降に使用した場合、致命的な事故になる危険があります。

お手入れ：

- ・本体、エアホースが汚れた場合は使用後乾いた布でよく拭き取り、付着した塵や埃をよく取り除いてください。
- ・エアホースが熱を持っている場合には、時間をおいて冷ましてから取り外してください。
- ・エアホースやアタッチメントに亀裂や破損がないかよく確認し、本体から取り外してから保管するようにしてください。
- ・バッテリーに泥汚れなどがついた場合には、乾いた布で汚れをはらい、乾燥させたのちブラシなどで汚れを落としてください。
- ・すべてのナット、ボルト、およびネジに緩みがないかよく確認し、装置が安全な作業状態にあることを確認してください。
- ・電源アダプター、本体、ノズルに異常はないかよく点検してください。破損がある場合は修理に出してください。
- ・バッテリーを空の状態でも長期間放置すると、激しく消耗することがあります。使用後は充電してから保管するようにしてください。
- ・使用後は毎回必ずドレンを排出するようにしてください。
- ・定期的にセーフティバルブの点検をおこなうようにしてください。

保管：

- ・バッテリーは本体から取り外し、電極部が金属に触れないようにして保管してください。
- ・長期保管する時は残量ランプを確認しバッテリーを満充電にしてから保管してください。残量が少ない状態で長期間（3 か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなる、または充電できなくなる恐れがあります。目安として3~4 か月に一度は充電するようにしてください。
- ・バッテリーを充電したまま放置したり、コンセントにさしたまま保管しないでください。
- ・乾燥した場所に保管してください。
- ・子どもの手が届くところ、または錠が掛からないところに置かないでください。
- ・風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かないでください。
- ・直射日光が当たったり、車内など高温になるところには置かないでください。
- ・ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かないでください。

故障・修理：

修理はご自分でなさらず、不具合のある場合には直ちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または弊社にお申しつけください。

故障かな？と思ったら

よくあるお問合せ	ご確認ください。
満充電なのに稼働しない	- エアタンク内圧力が約 8BAR 以上になっていないか確認してください。この状態で稼働しないのは安全上の仕様で、異常ではありません。タンクが満タンになり、圧力機が自動停止している状態です。コンプレッサーはタンク内圧力が約 6BAR 以下になると自動的に始動します。
バッテリーのもちが悪い	バッテリーの充電機能は経年劣化します。稼働時間の短くなったバッテリーは交換をお勧めします。
久しぶりに使用したら稼働できなくなっていた	長期間充電せずに放置されていたバッテリーは完全放電により内部で損傷を起こし、うまく給電できなくなっていることがあります。バッテリーは3ヶ月を目処に再充電するようにしてください。
バッテリーが熱い	- バッテリーは通常の使用時や充電中熱くなることがあります。内蔵ブレーカーが落ちるようになったバッテリーは残量が残っていてもそのまま使用を続けずに休ませてください。 - 熱くなった状態のバッテリーはすぐに充電しないでください。
バッテリーが充電できない	- 専用の充電器をご使用いただいていますか？充電器電圧がバッテリーと合っているかご確認ください。また、充電器の後ろに YARDFORCE またはエアロボックスと書かれているかをご確認ください。 - バッテリーが異常に高温になっている場合には内部ブレーカーが作動して充電できないことがあります。バッテリーを一度休ませてください。 - 長期間充電せずに放置されていたバッテリーは完全放電により内部で損傷を起こしている場合があります。バッテリーは3ヶ月を目処に再充電するようにしてください。
使用中にすぐ止まる	- タンク内圧力が約 8BAR 以上の時、自動停止するのは安全上の仕様であり、異常ではありません。圧力機は自動停止している状態です。タンク内圧力が約 6BAR 以下になると自動的に始動します。 - 過負荷によりモーターまたはバッテリーの内蔵ブレーカーが落ちた可能性があります。ブレーカーはサーモスタット方式です。作業時間や外気温の高さによっては数時間～最長2日ほど休ませ、十分に冷ましてからご使用ください。

よくあるお問合せ	ご確認ください。
- 圧力機が自動停止しない - タンク内圧力が 8BAR に到達しないためずっと作動を続ける	- セーフティバルブからエアが抜けていませんか？ P14 を参考に、バルブの点検をしてください。 - ドレンバルブが開いていませんか？ドレンバルブが開きっぱなしになっているとタンク内圧力が十分に上がらないことがあります。
圧力機の稼働が止まったのち、何も使用していないのにすぐにまたタンクが稼働する	- セーフティバルブからエアが抜けていませんか？ P14 を参考に、バルブの点検をしてください。 - ドレンバルブが開いていませんか？ドレンバルブが開きっぱなしになっているとタンク内圧力が十分に上がらないことがあります。 - タンク内圧力が異常に上がっているのに何度も稼働する、すぐにタンクに空気を入れ始めるなどの異常が見られた場合は直ちに使用をやめ、セーフティバルブを開いてタンク内の圧力を解放してください。そのまま使用するのは大変危険です。修理・点検を依頼してください。
通常時とは違う異音がする	- セーフティバルブからエアが抜けていませんか？ P14 を参考に、バルブの点検をしてください。 - ドレンバルブが開いていませんか？ドレンバルブが少しでも開いていると、エア漏れの音がすることがあります。 - 設置している場所の周りに振動による影響を受けている物がないか、確認してください。また、設置場の足場に不安定な箇所がないか確認してください。 - エアホースに亀裂がありませんか？エアホースの一部が膨らんでいたり、異常がある場合には使用を直ちにやめ、ホースを交換してください。 - 各部品やボルト、ネジにゆるみがないか、異常がないかよく確認してください。 - 稼働時の異音が解消されない場合は直ちに使用をやめ、点検を依頼してください。

保証書

お買い上げ年月日： 年 月 日

保証期間：お買い上げから 1 年間（本体）

※バッテリーは消耗品のため、保証の対象に含まれません。

※保証期間内でも、次の場合は有料となります。

- (1) 不適切な使用方法、および不当な修理や改造による故障、損傷。
- (2) お買い上げ後の落下による故障、損傷。
- (3) 火災、地震、水害、落雷、その他、天災地変や異常電圧による故障、損傷。
- (4) 一般家庭用以外（業務用など）に使用された場合の故障、損傷。
- (5) ご使用上で生じた外観上の損傷、および経年劣化。
- (6) 本書とお買い上げ時の領収書、あるいはご購入明細書の提示がない場合。

販売店名 ※記載がない場合はご記入ください。購入履歴は販売店に残っています。

輸入・販売元：エアロボックス株式会社 企画：アメリカ 製造：中国
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 3-13-11

不具合・修理・製品情報に関するお問い合わせは



ナビダイヤル®

0570-022-120

受付時間：平日 10:00 ～ 17:00（土日祝日、年末年始、お盆は除く）

製品名「24V ポータブルコンプレッサー」と、ご購入された販売店、ご購入日、お問い合わせ内容をオペレーターにお伝えください。

記載がない場合は販売店名の明記された明細書や納品書と一緒に保管してください。

お問合せにあたり、弊社プライバシーポリシーをこちらのページよりご一読ください。↓

「故障かな?」と思ったとき、組み立て・使用方法の詳しいご案内、交換パーツに関するお問い合わせは、ホームページから「よくあるお問い合わせ」を開覧いただけます。

<https://www.yardforcejapan.com/>

